

胃腸炎

患者様情報

来院されるまでの症状

- ・ 去年の4月頃から慢性的に胃痛があり、食欲が減退していたそうです。
6月に内科を受診、慢性胃腸炎と非びらん性胃食道炎と診断されました。
- ・ 呑酸がストレスとなり、慢性胃腸炎が悪化してイライラや便秘など様々な症状に悩まされたそうです。
- ・ 医師に鍼灸治療をすすめられて”ストレス””胃腸不良””鍼”をパソコンで調べて秀鳳に来院されました。

患者様	50代 男性
初診	2020年 9月
既往症	非びらん性胃食道炎、自律神経失調症
他の症状	喉のつまり感、首こり、肩こり、ストレス

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・ 治療を始める前から喉の引っ掛かりが気になるようで、咳払いをして辛そうにみえました。
- ・ お腹を触ると、腹大動脈が強く拍動していてストレスがあり、自律神経が乱れていることがわかりました。
- ・ 背中の脊際を中心に優しい鍼を施しながら自律神経を整えるように心がけました。
- ・ 最後に首周りの硬さが気になったので、「天柱」に



■ 初診後の経過

- ・ 治療後、咳払いが減り呼吸が深くなったようでした。
- ・ 腹大動脈の拍動も落ち着いていました。
- ・ 治療後は症状が落ち着いてはいますが、身体にストレスかかると症状が再発するため、週一度の

使用した主要なツボ

- ①胃兪（イユ） ②大腸兪（ダイチョウユ）
③天柱（テンチュウ）

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・ ストレス性の慢性胃腸炎の患者様は年々増加傾向にあります。とくに胃腸に問題はないにもかかわらず、病院に通院してもよくならない症状の患者様は鍼灸治療をおすすめです。
- ・ 鍼と灸で内臓の働きを良くしていき、自律神経のバランスを整えるのに鍼灸治療はとても有効です。